

温泉（鉱泉）成分分析書

1. 申請者		2. 源泉名及び湧出地							
住所	八代市松江城町1-25	源泉名	八代市日奈久温泉センター 第1号、第2号、第3号、第4号温泉源						
氏名	八代市	湧出地	八代市日奈久中町316-1 (第1号温泉源) 八代市日奈久中町316-1 (第2号温泉源) 八代市日奈久中町316-1 (第3号温泉源) 八代市日奈久上西町堂山甲397 (第4号温泉源)						
分析機関	温泉成分分析機関 登録番号 熊本県 第4号 ニチゴー九州株式会社 代表取締役 古賀一哉								
3. 湧出地（採水地点）における調査及び試験成績									
第1号		第2号		第3号		第4号			
(1)調査及び試験責任者	ニチゴー九州株式会社 環境分析部 今村政明								
(2)調査及び試験年月日	平成19年9月28日 (天候) 当日 晴 前日 晴								
(3)泉温	34.5℃ (調査時における気温29.5℃)	39.0℃ (調査時における気温33.3℃)	38.1℃ (調査時における気温33.5℃)	46.0℃ (調査時における気温30.3℃)					
(4)湧出量	199 ℓ/分 (動力揚湯)	228 ℓ/分 (動力揚湯)	109 ℓ/分 (動力揚湯)	85 ℓ/分 (動力揚湯)					
(5)知覚的試験	無色 硫化水素臭 無味	無色 硫化水素臭 無味	無色 硫化水素臭 無味	無色 無臭 無味					
(6)pH値	8.18 (31.8℃)	8.45 (37.5℃)	8.18 (35.7℃)	8.37 (41.0℃)					
(7)ラドン(Rn)	7.79×10 ³ Cl/kg (2.14 M・E/kg)	1.55×10 ³ Cl/kg (4.26 M・E/kg)	7.06×10 ³ Cl/kg (1.94 M・E/kg)	4.35×10 ³ Cl/kg (1.19 M・E/kg)					
4. 試験室における試験成績									
第1号		第2号		第3号		第4号			
(1)試験責任者	ニチゴー九州株式会社 環境分析部 今村政明								
(2)分析年月日	平成19年10月26日								
(3)知覚的試験	無色 硫化水素臭 無味	無色 硫化水素臭 無味	無色 硫化水素臭 無味	無色 無臭 無味					
(4)密度	0.9986 (20℃/4℃)	0.9986 (20℃/4℃)	0.9987 (20℃/4℃)	0.9985 (20℃/4℃)					
(5)pH値	8.25 (27.0℃)	8.35 (29.6℃)	8.21 (31.0℃)	8.49 (31.9℃)					
(6)蒸発残留物	701 mg/kg (110℃)	686 mg/kg (110℃)	898 mg/kg (110℃)	438 mg/kg (110℃)					
5. 試料1kg中の成分、分量 (単位: mg/kg)									
1)陽イオン成分		第1号		第2号		第3号		第4号	
ナトリウムイオン (Na ⁺)	242.2	245.5	292.9	152.1	242.2	245.5	292.9	152.1	242.2
カリウムイオン (K ⁺)	2.5	2.5	2.7	1.3	2.5	2.5	2.7	1.3	2.5
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.4	0.3	0.4	0.1	0.4	0.3	0.4	0.1	0.4
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	9.4	8.5	11.7	2.5	9.4	8.5	11.7	2.5	9.4
陽イオン成分 計 ①		254.5	256.8	307.7	156.0	254.5	256.8	307.7	156.0
2)陰イオン成分		第1号		第2号		第3号		第4号	
フッ素イオン (F ⁻)	0.6	0.7	0.7	0.9	0.6	0.7	0.7	0.9	
塩素イオン (Cl ⁻)	312.1	320.2	414.0	116.4	312.1	320.2	414.0	116.4	
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	24.1	14.0	12.8	5.4	24.1	14.0	12.8	5.4	
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	195.4	58.7	189.3	97.8	195.4	58.7	189.3	97.8	
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	9.0	9.0	12.0	12.0	9.0	9.0	12.0	12.0	
陰イオン成分 計 ②		532.5	402.8	617.5	232.5	532.5	402.8	617.5	232.5
3)非揮発成分		第1号		第2号		第3号		第4号	
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	30.9	33.6	34.5	41.7	30.9	33.6	34.5	41.7	
メタホウ酸 (HBO ₃)	8.2	5.1	7.6	6.0	8.2	5.1	7.6	6.0	
非揮発成分 計 ③		39.1	38.7	42.1	47.7	39.1	38.7	42.1	47.7
4)溶解ガス成分		第1号		第2号		第3号		第4号	
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	22.0	-	-	-	22.0	-	-	-	
溶解ガス成分 計 ④		22.0	-	-	-	22.0	-	-	-
5)その他の微量成分		第1号		第2号		第3号		第4号	
総ヒ素 (T-Aa)	検出せず(0.001未満)								
総水銀 (T-Hg)	検出せず(0.00005未満)								
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.06	0.02	0.02	0.03	0.06	0.02	0.02	0.03	
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.005	検出せず(0.005未満)			0.005	検出せず(0.005未満)			
鉄(II)イオン (Fe ²⁺)	検出せず(0.1未満)					0.02	0.01	0.05	
鉄(III)イオン (Fe ³⁺)	検出せず(0.1未満)							0.05	
銅 (Cu)	検出せず(0.1未満)							0.05	
カドミウム (Cd)	検出せず(0.001未満)							0.05	
鉛 (Pb)	検出せず(0.001未満)							0.05	
メタ亜ヒ酸 (HAsO ₂)	検出せず(0.001未満)							0.05	
6. 泉質						第1~3号温泉源: 単純温泉 (低張性 弱アルカリ性 温泉) 第4号温泉源: 単純温泉 (低張性 弱アルカリ性 高温泉)			

源泉と浴槽の温泉利用について

利用源泉に関する情報			
源泉名	八代市日奈久温泉センター 第1~4号源泉		
湧出形態	動力揚湯、1号(78m) 2号(100m) 3号(60m) 4号(200.5m)		
泉温・湧出量	34.5℃~46.0℃ 85~228ℓ/分・・・成分分析表3-(3),(4)		
泉質	単純温泉 (低張性 弱アルカリ性 温泉)・・・4号は高温泉		
浴槽の温泉利用に関する情報			
給排湯	循環装置 給排湯方式	非循環式浴槽 (かけ流し浴槽)	全ての温浴槽に、新しい温泉を常時、かけ流しにて供給しています。 ※水風呂のみ衛生管理のため、濾過循環装置を通常使用しています。
加水 加温	加水 水温	なし あり	入浴に適した温度に保つため通常加温しています。 季節、気温に応じて40~45℃の範囲で供給しています。
新湯 入替	新湯注入温度 浴槽温度 入替え頻度	40~45℃ 39~42℃ 毎日	季節に応じて39~42℃の範囲で設定しています。 浴槽は毎日換水し併せて清掃を行っています。
添加 飲用	入浴剤 消毒用	なし あり 適	衛生管理のため、塩素系薬剤を通常使用しています。 2階大浴場の飲泉をご利用ください。(その他の湯口は飲用できません。)
水質検査		水質検査を年1回以上行っています。	

適応症

- ①神経痛・筋肉痛・関節痛・運動麻痺
- ②うちみ・くじき・関節のこわばり・五十肩
- ③冷え性・慢性消化器病・痔疾
- ④病後回復期・疲労回復・健康増進

禁忌症

- ①急性疾患 (特に熱のある場合)・活動性の結核・悪性腫瘍
 - ②重い心臓病・呼吸不全・腎不全
 - ③出血性疾患・高度の貧血・その他一般に病勢進行中の疾患
 - ④妊娠 (とくに初期と末期)
 - ⑤高温浴 (42℃以上) の禁忌: 高度の動脈硬化症・高血圧症・心臓病
- 飲用
- ①腎臓病・高血圧症・その他一般にむくみのあるもの
 - ②甲状腺機能亢進症

入浴上のご注意

- ・浴槽に入る前にはよく体を流してお入り下さい。また、浴槽内にタオルを入れないでください。
(浴槽内で体を洗う事は禁止されております)
- ・8才以上の方の混浴は禁止されております。
- ・泥酔での入浴はご遠慮下さい。

温泉利用のその他の注意事項

<p>浴用上の注意事項</p> <p>ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。</p> <p>イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。</p> <p>ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり (湯さわり又は浴場反応) が現れることがある。「湯あたり」の際は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。</p> <p>エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。 ・入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。 ・入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない (湯たれを起こしやす) い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を試き取るのがよい。 ・入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。 ・熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。 ・食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。・飲酒しての入浴は特に注意する。 	<p>飲用上の注意事項</p> <p>ア. 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましい。</p> <p>イ. 温泉飲用の1回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日の量はおおむね200mlないし1000mlまでとすること。</p> <p>ウ. 塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。</p> <p>エ. 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般には食前30分ないし1時間がよい。 ・含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。 ・夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。
--	--

日奈久温泉センター

ばんぺい湯

※成分分析、水質検査の原本は事務室に掲示しております。